

平成 10 年第 2 回定例会(第 4 日 6/15)

午後5時2分開議

- 議長(瀬山孝一君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第2の一般質問を継続します。

長谷川大君。(拍手)

[長谷川大君登壇]

- 長谷川大君 それでは、通告に基づきまして、質問をさせていただきます。

まず1番目、人件費についてでありますけれども、

さきの3月議会で管理職手当の5%カットというお話がございました。これに関しまして、カットの理由、3月議会のおさらいみたいになりますけれども、これをお聞かせいただきたいと思います。

それから、2番目の契約についてでございますけれども、これは議案質疑のときに、私どもの会派の先番議員によりまして質問させていただきました。それでほぼ理解をいたしましたので、今回は省略をさせていただきます。

それから、3番目の緑地の考え方についてでございますけれども、「省略かい」と呼ぶ者あり)これもですね、私の準備がちょっと整っておりませんで、大変恐縮ですが、これもちょっとカットをさせていただきます。済みません。「めんどくさいから、あと全部省略しちゃえば」と呼ぶ者あり)早く終われという話があるものですから。「そんなこと言っ
てないよ。60分ちゃんとやらなくちゃ」と呼ぶ者あり)

それから4番目、教育施設の充実についてでありますけれども、これはちょっと、じゃあお話をさせていただきます。「じゃあ、だって」「無理してやらなくたって」と呼ぶ者あり)

まず1点目といたしまして、昨年度の末で小中学校にパソコンの配備が終わったようなんですけれども、このパソコンが昨年の末で配置が終わったんですけれども、何年か
で配置していったものですから、最初のころに配置をされた学校というのは、大分古いモデルになっているよう
であります。

私は、学校に置かれているようなパソコン、ちょっと使っていないものですから、よくわからないんですけども、昔DOS/V機だとか、それからIBMのAT互換機だとかという言われ方をして、その後にウィンドウズの3.1というソフトが走るような機械に変わって、それからウィンドウズの95というのが出てきて、今週ですかね、98というのが出るらしいんですけども、そうやってだんだんだんだんソフトも変わってきている。変わってきているということは、それが使えるようなハードでなければいけないんですけども、それが使えないハードが既に配置されている学校があるようであります。

僕は、全く違う系統のパソコン使ってるんですけども、僕の場合はアップルというところのを使ってますから、そのオペレーションソフトというのは、6.1とか幾つとかあって、今OSの8.1というバージョンに変わってただけで、ハードがそれほどいじらなくても使えるような状態であるんですけども……（「それがいいよ」と呼ぶ者あり）そうなんですけど、どうも船橋市の場合は違う方を使っているんでありまして、（「アップルの宣伝しちゃだめだよ」と呼ぶ者あり）このハードとソフトの問題で、いろいろと問題があるんじゃないかなというふうに考えてます。

例えば、うちの娘が3歳から僕と一緒にパソコンで遊んでいたんですけども、ことし小学校に上がりまして、いまだにうちのパソコンを使っている限りはそれで遊べるんですけども、世のお父さん方は、会社で使っているのが大体ウィンドウズ95が走る機械であるわけでありまして、お父さん方もそろそろパソコンというのはもう家電の領域に入ってきたということで、自宅に1台うちの会派の諸先生方も自宅に何台も持っている方もいらっしゃるんですけども、（笑声。「だれだそんな金持ちは」と呼ぶ者あり）家で、例えば子供と一緒にパソコンをいじろうとしても、学校で使っているのと違う使い方になってる部分があるわけでありまして、この辺は、何のためにパソコン導入したかという問題もあるんですけども、父と子の関係ですとか、それから学校教育にパソコンが導入された理由だとかという中では、最新のものがなるべく学校で使えるようにしていただいた方がよろしいんじゃないかなと思って、いろいろとお話を伺いますと、行き着くところは大体予算の問題になってきちゃいますんで、これをととやかく言ってもしょうがないんで、済みません、これは要望にさせていただきますけれども、最新のパソコンを usable するような環境をつくるための工夫をしていただきたいと思います。それが、私のパソコンに関しての要望でございます。

それからもう1つ。次なんですけれども、小学校に可動ステージがあるんですけども、これも整備計画を聞きますと、年に1校ずつの整備だそうでありまして、これをあとどれくらいで整備が終わるんですかという話になりますと、あと7年ぐらい7校ですか、1年1校ですから、それくらいかかるようなんですけれども、これに関しましても……。

[「何か高座みたいなの」と呼び、その他発言する者あり]

●議長(瀬山孝一君) 静粛に願います。

●長谷川大君(続) これも予算の関係なんですけれども、何とか教育の平等といえますか、市内の小学生がみんな共通の教育環境で勉強ができるような形をとっていただくために、ぜひともあと1～2年で何とか予算づけをしていただいて、全校に可動ステージがあって、いろんな学校行事ができるような教育環境を整えていただきたいというふうに思いまして、済みません、これも要望とさせていただきます。(「そんなの質問しちゃった方がいいよ」と呼ぶ者あり)

はい。それでは次に質問に入らせていただきますけれども、昨晚、震度3ぐらいですか、地震がありまして……(「タイミングよくあったね、質問に間に合ってたね」と呼ぶ者あり)ええ、阪神大震災の後にはいろんな先生方が質問をなされたんですけれども、さて最近では全然そういう声が聞かれなくなってきたんですが、あの後にいろいろと公共施設の耐震診断なんかをなされたようなんですけれども、この耐震診断の対象となった公共施設の数、それからどれくらいの間調査をしたか。そして、その結果どのような対策を必要とし、どのような対策をしたか。その件数、いまだにその対策がなされていない数は幾つか。それから、今後これらの耐震の問題についてはどのようにしていくのか、考え方をお聞かせいただきたいと思います。

それから、次の市政懇談会についてでありますけれども、これもおさらいのような質問になって恐縮ではありますが、開催をする理由をもう1度お聞かせいただきたいと思います。

以上で、第1問を終わらせていただきます。

[総務部長川名部正一君登壇]

●総務部長(川名部正一君) 管理職手当カットの理由について、お答えいたします。

平成10年度の財政状況が、歳入の根幹であります市税の減税等によりまして、前年度よりも減収となっており、大変厳しい状況にございます。特別職につきましては、平成9年度の給与改定を見送りにして、また議員の皆さんにも3月末に支給します期末手当の増分につきましては、凍結をお願いしたところでございます。

管理職の皆さんのカットについては、大変心苦しいところがございます。しかし、本市の置かれております厳しい状況の中にあつて、管理職の皆さんにも十分理解してもら

うとともに、一般経費の節減にも努めていただき、効率的な行政運営に図っていきたい、このようなことでもって実施したものでございます。

ぜひ、ご理解をいただきたいというふうに思います。

[計画部長押尾文雄君登壇]

● 計画部長(押尾文雄君) 地震対策について、所管にかかわることについて、お答えいたします。

公共施設のうち、建築物の耐震診断につきましては、昭和 56 年の新耐震設計基準がございまして、その以前に設計されたものを対象にしまして、避難地となるところから、順次実施しておるところでございます。

耐震診断の対象となる公共施設につきましては、136 施設のうち、第 1 次・第 2 次診断の進捗状況でございますが、小中学校 77 校のうち 39 校、学校以外の保育園・公民館等の公共施設につきましては、59 施設のうち 13 施設を実施しております。また、未実施の公共施設につきましては、今後 5 年ないし 6 年で第 1 次・2 次診断を終了する予定でございます。

第 1 次・2 次診断、さらに精密な診断が必要となる施設につきましては、第 3 次診断を実施しており、これまで小中学校 16 校がございまして、なお、3 次診断の結果、補強工事が必要とされる施設については、平成 9 年より補強工事を実施しております。平成 9 年度 3 校実施いたしております。平成 10 年度には 2 校を実施する予定でおるところでございます。補強工事の実施計画につきましては、耐震診断がすべて終了していませんので、耐震診断の結果を踏まえて、今後計画を進めてまいりたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

[広報部長西山裕康君登壇]

● 広報部長(西山裕康君) 市政懇談会の開催理由ということでございますが、より地域に身近な問題を地域住民の皆様方と話し合うことによりまして、市民の方の市政に対する関心を高めていただくこと。それによりまして、市民の皆さんの市政参加の意識を育む、こういうことを考えてやっております。また、市政懇談会を通じまして、市政へのご理解、ご協力をもあわせてお願いしてるところでございます。こうしたことによりまして、

市民に開かれた市政、市民の立場に立った身近な市政が展開できるものと考えております。

以上でございます。

[長谷川大君登壇]

●長谷川大君 まず、人件費についてなんですけれども、経費の削減ということでありました。だとしたら、4月1日付で人事異動があったわけなんですけれども、一番左の欄に丸がついているんですね。これは、昇格をあらわすんですけれども、僕はこれを見て、昇格、丸印の大盤振る舞いだと思ったんですけれども、経費の削減と言っておきながら、4月1日の人事というのは、もう既に3月の段階でほぼ固まってきていると思うんですけれども、ここで昇進・昇格があったわけですね。そうすると、5%カットしますよ、予算の議会のときに言ったにもかかわらず、その管理職手当は、この丸の数からいくと、明らかに5%カットした分を上回っているわけなんですけれども、これはどういうふうに理解したらいいのか全くわからない。経費の削減だというのであれば、例えば総務部長さんなり、助役さんなり、市長さんなりが、財政状況が厳しいから、今回は昇格を見合わせたいんだというような話を職員の皆さんにして、例えば10月まで先延ばしにするだとか、1年先延ばしにするだとかいうことをしてもいいんじゃないかと思うんですけれども、そういうことが全然なされないで、同じ3月の段階で、片や予算がないからと言って管理職手当を5%カットして、で昇格をさせてたら、全く意味がないと思うんですけれども、この辺についてのご見解を伺いたしたいと思います。

それから、市政懇談会なんですけれども、市政の理解だとか協力だとか、いろいろな理由はごちゃごちゃ言ってきましたけれども、最初に開かれたときからもう何回かやっていると思うんですけれども、主催者がだれなのか、ちょっと明確じゃないんですね。いろいろ担当課の方に話を伺うと、いや主催は市なんですよという話があるんですけれども、じゃあ現場に行ってみるとどうということになっているかという、地元の連協が全部手配をして、議題も何も全部あらかじめ出させておいて、まるでこの議会と同じように答弁も用意しておく、そういうような状況であるわけでありまして。そうしますと、どうということになるかという、市政懇談会をあらかじめ告知されていた市民の皆さんが、きょうは何か自分の意見を言わせてもらえんだなと思って行きますと、もうあらかじめ決められた議題で、決められた人たちが前の席に座って発言をする。それに対して、決められたというか、あらかじめ用意された原稿で答弁をするというような状況になっているようでありまして。特に1回目なんかは、市会議員の方々がご案内をいただいて出席をしましたところ、発言はしてくれるなというようなお話があったようです。市会議員といえども

市民であるわけでありますから、発言が許されてもいいんじゃないかと思うんですけれども、それが無い。

それから、「そこで発言しているんじゃないよ」と呼ぶ者あり)もう一つは、来賓席というのが、うちの方でやられたときも用意されていたんですけれども、私は町会長としてご案内をいただいておりますので、町会の皆さんが座る席に座らせていただいたんですが、来賓をご紹介しますというような言い方で紹介をされてしまいました。私は、後ろの方に座ってたんですけれども、ご案内もいただいてないのに来賓席に座るほど厚顔無恥ではございませんので、私は町会長として出席をさせていただいたんですけれども、この辺の問題も定かではない。それを担当課に伺うと、いやそれは連協がやっているものですから、ちょっとわからないんですよというような話になってきて、連協が主催者なのか、市が主催者なのかよくわかりません。連協にいろいろお願いをしてやるんだったら、自治振興課という課があって、そこが常に自連協との連携をとっている事業をやっているわけですから、何も市政懇談会という席を設けて、そういう意見の交換をする必要は、ひょっとしてないんじゃないかというふうに思いました。

これらのことをいろいろ聞いていって、最後に行き着くところは、担当課の方では、いやまだ始めたばかりですから、何もよく決まっていなくて、これから決めていくことなんですよという話なんですけれども、お役所の仕事としては、石橋を叩いて、何度も何度も叩いて渡るような部分があるにもかかわらず、今回の市政懇談会に関しましては、非常にアバウトにいろいろ進めているような部分がありまして、非常におかしいような感じを受けます。

私の知っている方も、ふだん市の事業にいろいろご協力なさっている方が、ふだんのそのお仕事の中でおかしいなと思っていることを提案しようと思って、議題として提出したんですけれども、内容を伺いますと、とてもいい答えを答えられる状況じゃなかったからだと思うんですけれども、提案は議題としてカットされちゃったんですね。一般のと言ったらおかしいんですけれども、普通の市民の方よりも明らかに市の仕事にいろいろと協力している方ですから、間違いなくその問題というのは提起されてしかるべきものだと思ったんですけれども、そうじゃなかった。その方はもう怒って、その会には出なかったんですけれども、こんな市政懇談会あるかというような言い方で、僕に食ってかかれてしまったんですけれども、そういうような市民の声も出てきているような状況であります。

それらを踏まえてそれからもう一つ、ごめんなさい。市民の声を聞く課というのがあるんですけれども、やっていることを見ますと、ここの課でふだん対応していることで対応できちゃうんじゃないかなというような気もするんですけれども、それらを含めて、来

賓の問題ですとか、主催者の問題ですとか、議事の進め方の問題ですとか、議会との相違点ですとか、「やめた方がいいのか」「どうしろと言うの」「何が言いたいの」と呼ぶ者あり)自治振興課とのかかわり合いたとか、市民の声を聞く課とのかかわり合いたとか、その辺についての所見を伺いたいと思います。

以上で、2問を終わらせていただきます。

[総務部長川名部正一君登壇]

●総務部長(川名部正一君) 人件費についての再質問にお答えいたします。

大変何か心に矢がつついたような、痛いご質問をいただきましたけれども、職員の昇格につきましては、職員の退職の推移等勘案しまして、行政組織の必要性に基づきまして、上位の職に任用することで、より高度な視点から行政を把握し、判断することができる職員を、将来に向かって育成することを基本に実施しております。今回の昇格につきましても、このような観点から必要だと判断したものでございます。

ご趣旨につきましては十分踏まえ、今後対応したいと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

[広報部長西山裕康君登壇]

●広報部長(西山裕康君) 市政懇談会に対する種々のご質問をいただきました。

市政懇談会、実は昨年11月からことしの5月まで、5つの地区で実施させていただいております。1会場約100人から200人ぐらいの規模で、市民のご参加をいただいているところでございます。

夏見地区のご指摘をいただきました点は、一番初めの開催でございましたので、地区連の方が大変はりきりまして、要望事項たくさんお出しいただいた。それで、自由の懇談時間が少なくなったという事実はございます。

開催はどうなんだということですが、連合自治会、地区連と共催という形で実施させていただいております。

来賓のご案内、その他人の呼びかけ、私どもも広報でやっておりますが、それは地区連でやっていただいております。

それから、来賓の先生方のご発言云々ということでございましたけれども、日ごろから議員の先生方におかれましては、行政側といろいろご発言交わす機会多うございますので、日ごろから市側となかなかお話をする機会の少ない市民の方にお譲りいただくというか、そういう観点でご理解いただいているところでございます。(「そのとおりだ」「それでいいんだ」と呼ぶ者あり)

5回やりまして、地区によりまして要望時間を1時間、自由討議を1時間、いろいろ全くその地区によって進め方異なっております。地区の事情によりまして異なっておりますが、私どももより効果のあるように、これからも研究してやっていきたいと思っておりますので、よろしくご指導お願いしたいと思います。

以上でございます。(「やめちゃったらどうする」

と呼ぶ者あり)

各地域の皆さんからは、自分のところを早くやってくれということで、いろいろ言われておりますので、非常に私どもとすれば、開かれた市政のために市民の方には待ち望まれているという認識でおります。

以上でございます。(「地区連の役員が言ってるんだよ、それは」「今度はいつかと言われたよ」と呼ぶ者あり)

[長谷川大君登壇]

●長谷川大君 人件費の問題に関しましては、とりあえずまだ始まったばかりですから、1年間様子を見させていただこうかと思っておりますけれども、ぜひともよろしくお願いいたしますと思っております。

人件費からちょっと外れちゃうんですけれども、1つ要望がございまして、最近若い職員が私の顔を見ると、「風紀委員が来た……」と言って逃げちゃうんですけれども、僕は別に何もそういうことをやっているわけじゃないんですけれども、もう衣がえの季節が既に過ぎておりまして、船橋市役所の中では夏の制服が支給されていることになっているわけでありまして。毎年毎年予算がとられているんですけれども、今、後ろの課長さん方が控えている部屋を見ても、だれ1人として夏の制服を着ている方1人もいらっしゃらないような状況でありました。(「寒かったからだよ」と呼ぶ者あり)きょうは、もうクーラーが入るほど暑くなっていますので……。だれも着ない夏の制服のために予算をとって、購入はして支給はされているんだと思っておりますけれども、こういうむだは、ぜひともやめていただきたいと思っております。

それから、今の市政懇談会ですけれども、市民の皆さんに発言の機会をというお話だったんですけれども、市民の皆さんが発言ができないと言って怒ってきているんであります。そういう声の方が多いのが現状だと思いますので、その辺はもうちょっと工夫をしていただければなというふうに思います。これも要望としておきます。

じゃ、これで終わらせていただきます。